



THE ROTARY CLUB OF MIYOSHI CHUO

三次中央会報 ロータリークラブ

事務所/広島県三次市十日市東1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mcrcl.server-shared.com

例会場/広島県三次市十日市南1-10-1
三次グランドホテル
例会日/月曜日 12:30~13:30

2021-2022 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

- 本日のプログラム ゲスト講演/青少年奉仕委員会
三次市教育長 迫田隆範様
- 次回例会日時 2022年5月30日(月) 12:30~
- 次回プログラム ゲスト講演/プログラム委員会
広島県議会議員 下森宏昭様

会長 / 栗本 清秀
幹事 / 杉谷 優治

●2021~22年度 国際ロータリーのテーマ



●2021~2022年度 三次中央RCスローガン
クラブの魅力を共有し、
友を増やそう

■第1349回例会記録

- 日時.....2022年5月16日(月)12:30~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ソング「奉仕の理想」.....全員

■開会挨拶.....栗本会長

節目を乗り越えて発展を!

皆さん、こんにちは。本日の例会は昨日5月15日に広島国際会議場で行われた地区研修・協議会報告です。沈会長エレクト選出による発表者の皆様の報告よろしくお願ひします。

昨年はZOOMによるWEBセミナーをサングリーン第3ビルをお借りして、14時から16時まで2時間、休憩なしで行われましたが、今年はいかがだったのでしょうか。

また昨日は沖縄が本土復帰50年という節目を迎えたようです。節というと竹ですが竹はどこどこに固い節を持ち節と節の間は空洞であり、多くの植物の中で竹だけがこういう構造を持ち、竹が軽さと強さを併せ持つ特徴となっています。この節により竹がより高く天へ向けて伸び続ける力になるのではないのでしょうか。

平成の時代の普通の日常が今思えば、得難いような平和で安全な毎日だったと思えることがあります。

平成の時代では地球規模で新型コロナウイルスが猛威を振るい、全世界の生活様式を変え、マスクが常識となり行きかう人がマスクをしていないと違和感を持つという事態は全く想像したこ

とがありませんでした。

ましてやロシアによるウクライナへの侵攻などという事態も予想した人が何人いたでしょうか。

日本は第二次世界大戦敗戦を経て、世界でも類まれなる経済復興を先人の努力で固い節目として乗り越え、次に迎えた節目が現在なのかもしれません。

沈エレクトが次年度クラブ活動方針を発表され理事役員委員長の選定や今回の地区研修・協議会、次年度への様々な会議等が本年度と次年度を繋ぐ固い節となり、脈々とこれからも奉仕の理想のもと三次中央ロータリーが発展することを祈念いたします。

以上で会長挨拶を終わります。



■幹事報告.....杉谷幹事

●国際ソロプチミスト三次の40周年記念が5月18日(水)に行われます。栗本会長が出席します。

■次年度関係.....中島次年度幹事

本日19時より次年度理事役員会を開催します。場所がサングリーン第3ビルに変更となりましたので、お間違いのないようにお越しく下さい。食事はなしです。

5月25日(水)には、第2回クラブ協議会を三次グランドホテルで19時より行います。こちらは食事があります。欠席の方は早めにお知らせください。

■ゴルフ同好会.....上田会員

会長杯を6月15日(水) 富士三次カントリークラブで行いますので、ぜひ参加してください。

■出席報告.....中西委員長

●第1347回 4月25日

会員数	36名	Make-up	0名
欠席	7名	出席合計	29名
欠席者のうち規定免除	2名	出席率	85.29%

●第1349回 本日の出席は36名中26名です

■SAA.....小根森SAA

●会員誕生日...圓道君



●会員ニコニコBOXご出宝

- 圓道君 5月19日で45歳になります。四捨五入すると、50です。(大口)
- 沈君 久しぶりのリアルな地区研修会、楽しかったです。地区研修・協議会報告よろしくお願いします。
- 栗本君 昨日は地区研修・協議会お疲れ様でした。今夜は次年度理事役員会です。よろしくお願いします。
- 中島君 地区協の報告します。よろしく。
- 角谷君 初めて地区研修・協議会参加させていただきました。報告します。よろしくお願いします。
- 重信君 地区研修・協議会報告します。
- 大井君 地区研修会、お疲れ様でした。
- 石田君 熱中症に注意して頑張りましょう。
- 平田君 5日間ファスティング終わりました。心も体もリフレッシュできました。
- 野村君 昨日は地区研修・協議会でお世話になりました。

ニコニコBOX本日出宝額 13,000円

2022-23年度 地区研修・協議会 (2022.5.15 広島国際会議場)



会員増強部門



次年度幹事 中島清貴

基本方針について

- 1、退会防止策の検討
- 2、地区会員増強指針(会員51名以上は2名以上、会員50名以下は1名以上の純増)
- 3、女性会員や若い会員の入会促進
- 4、新クラブの結成推進(衛星クラブの創設)
- 5、小規模クラブへの支援(合同例会、他クラブと連携した奉仕活動)
- 6、新会員へのオリエンテーションマニュアルの作成と丁寧な説明及び親睦の推奨

《アンケートで昨年と特に変わったところ》

- ・クラブ数に変化はなく72クラブだが会員数が3,134名と昨年と比べて100名あまり減っている。
- ・オンライン例会を行なっているところが昨年16クラブだったのが40クラブに増加したこと。

《オープン例会の実施についての発表》

・呉東RCでは数十年前に会員増強を行った際、それによってクラブを二分する問題に発展し、19名の大量退会を教訓に会員増強よりも退会防止の方に力を入れつつ、地域密着活動と親睦に重点を置いて勧誘を行なっている。

・元会員、若い会員の友人、得意先の人、女性会員の知り合いに声をかけ、オープン例会を行ったり、卓話依頼を行い会員に勧誘するなどが効果的であった。

・退会防止策としては、プログラムの充実を図ることが重要。

《カウンセラー講話 クラブで心がけたら良いこと》

- ①クラブの活性化(例会を重視した温かいクラブ作り)
 - ・ロータリー情報を周到に準備し提供すること。
 - ・卓話を吟味して迎えること。
 - ・卓話中は、ゲストに顔を向け、私語・居眠りをしないで聞くこと。
 - ・欠席がちの会員には、声を掛け合うこと。
- ②奉仕活動の充実(感動のマジシャンに。感動をもたらす奉仕活動)

- ・安易な金品の寄付ではなく、地域社会のニーズに基づき地域の人々を巻き込み共感・賞賛される感動ある奉仕活動。
- ・地域社会にインパクトのある「ロータリー奉仕デー」を!
- ・複数クラブの市域は合同で!
- ・ロータリアンには、満足感・達成感ある奉仕、受ける見返りは「感動」!
- ・ロータリアンは周囲の人びとに喜び楽しみ感動を与えるマジシャンに!
- ③ふさわしい仲間を誘う(最大の財産は会員)
 - ・持続可能な組織を保つには、常に新しい人材を!
 - ・「会員」を増・強することは、ロータリーの未来を託す人材を得る。
 - ・ロータリーの最も大切な財産「会員」!
 - ・「会員増強」は、ロータリアン最大の奉仕!
 - ・待っていても入会希望者は現れない!(仲間を増やそう!意気込みを示そう)
- ④ロータリーの心を知る(謙虚で思いやり)
 - ・117年の歴史を有する組織。
 - ・職業倫理を大切にすの会員の集う組織
 - ・地域・国際社会で奉仕・貢献する組織
 - ・日本最大の奨学制度を有する組織
 - ・相互に刺激し合い、自らを磨き・高める人の集う組織

《会員増強のためには(理想は)》

- ・ロータリアンは人間的にも、職業的にも素晴らしい!
- ・ロータリアンの企業であれば、信頼でき安心!
- ・あんな職業人になりたい。
- ・あんな人のいる組織に入りたい。

などの評価が得られることが目標であり「会員増強」の理想である。

また、入会したい、会員であり続けたいというクラブ作りを。

《個人的には》

ロータリーとは年齢、職業を問わず密に交流を行うことができる組織であると思う。それを青年会議所卒業生や商工会議所青年部・商工会青年部を卒業した人たちに誘い、良さを伝え勧誘することが会員増強につながると思った。

地区研修・協議会報告

奉仕プロジェクト部門

(職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕)

次年度副幹事 大井睦子



皆さんこんにちは。

今回は、地区研修・協議会の報告をさせていただきます。私が参加したのは、奉仕プロジェクト部門①(職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕)でした。

まず、基本方針です。

地区奉仕プロジェクト委員会は、2022～23年度RI会長ジェニファー・ジョーンズ氏のテーマ「イマジン ロータリー」石川ガバナーエレクトのガバナー信条「人生100年時代に向けて、健康寿命を延ばそう」を受けて、新たな奉仕活動の模様と実践を目指します。

また、各クラブの職業・社会・国際奉仕委員会の事業がこの両テーマに沿って円滑に実現されるよう、連携を図りサポートします。

次に、分科会テーマです。

今回の分科会においては、新たに策定された「がん予防新12か条プラス」の追加事項である口腔ケアとがん予防に焦点を当てて、いっそうの理解を深めるために講演を計画しました。また関連した奉仕事業の事例も紹介します。各クラブの社会奉仕の一環として、啓発活動のきっかけになればと期待しています。

ということで、メインのプログラムは、周南公立大学の理事長で学長の高田隆医師の「歯・口腔の病気と全身の健康ーがん予防新12か条プラスをうけてー」と題した講演でした。

この中で年代別歯周病罹患率が30代以上だと80%であるということが紹介され、歯周病は歯垢や歯石が原因で発症し、歯茎に潰瘍ができ、そこに歯垢の中の細菌が侵入し、全身に回るのだということでした。

また、その細菌が全身に回ることで、心臓血管疾患、脳血管疾患、糖尿病、早産や低体重出産が起こるそうです。最近の病では、コロナとも関係しており、歯周病の人は、そうでない人と比べて、死亡率が8倍以上、人工呼吸器の使用率は4倍以上、集中治療室への入院率は3倍以上となるそうです。

最近注目されているのは、大腸がんと歯周病の関係だそうです。口の中の細菌とがんの細菌を調べたところ、同一のものであったということです。歯周病をちゃんと治療すれば確率は下がるということでした。

た。

講演の最後には、歯周病は頭の前から足の先まで影響します。「病と禍は口から」と締めくくられました。

講演の後は、奉仕プロジェクトの事例紹介で、コロナ禍で行われた奉仕プロジェクトが2例紹介されました。

1例目は、当クラブでも減塩のプロジェクトでお世話になりました呉クラブの日下美穂医師によるものでした。健康寿命を延ばすため「減塩・増カリウムのすすめ」の動画の作成の紹介でした。現在の長寿は必ずしも持続可能な長寿ではないこと、日本人は1日10gの食塩を摂取しているが、WHOでは1日5g未満の摂取を推奨していることなどを話されました。

また、2例目は下関東クラブの松村一稔氏によるもので、下関東クラブの声がかけて下関、下関東、下関西、下関北、下関中央の5クラブ合同でコロナワクチンの職域接種を開催された話でした。1回目は2021年9月4日、5日に実施され、参加者が1611人、2回目は10月2日、3日に実施され、参加者が1586人と盛況であったと報告をされました。

これらのお話しを聞き、コロナ禍ですが、工夫をして奉仕活動をされているクラブがあるのだと感心いたしました。

簡単ですが、以上で報告を終わります。

地区研修・協議会報告

クラブ管理運営部門

次年度クラブ管理運営委員長

角谷俊典



クラブ管理運営部門の分科会より報告させていただきます。カウンセラーは、防府RCの脇正典パストガバナー、委員長は徳山RCの河野正幸氏でした。

クラブ管理運営の基本方針

ロータリアンとして意識を高め、柔軟性のあるクラブ運営に努める

1. ロータリーへの理解を深める
2. DX時代への対応
3. 卓話の幅を拡げる
4. クラブの重点目標を掲げる

分科会テーマ

楽しい例会・実りある例会にする為には何が重要か？

まず第1にRIの例会そのものが、奉仕活動重視になりつつあると言われ、もっと例会そのものを重視しましょ

うというものでした。特に卓話については、メンバーの1業種1名というところから、異業種の方々の卓話を聞きましょう。あるいはオンライン、WEB、SNS等の活用で、遠くにいて来ていただけない方々に例会で卓話をさせていただくのも一つの例ではないか。ただこれに関しては、しゃべっている方は画面を見てしゃべる訳で、聞いているこちらの姿が見えないのでちょっと盛り上がらないのではないかと思います。

卓話の話が中心でして、卓話の内容もいろいろと幅広く取り上げてみてはどうか。そこで重要なのが、聞く側が温かい心を持って聞くということだとおっしゃっていました。

最後に質疑応答があった訳ですが、なぜかしら、答えていらっしやる委員長が質問に対してちゃんと答えていなかったのが、非常に聞いている方は冷めていたように思います。以上です。

地区研修・協議会報告

公共イメージ部門

次年度広報委員長

小根森直子



次年度広報を担当させていただきます小根森でございます。昨日は少人数の参加でしたが、おいしいお弁当をいただき楽しく参加してまいりました。バスの中でワインをいただくのは何年振りかの事でしたがなかなかいいものでした。

まず、全体会ですが、RI研修リーダーで東京広尾クラブの女性ロータリアン服部陽子さんがガバナー時代の奉仕活動を通して次年度のテーマ、「イマジンロータリー」とは夢を描くこと、そしてその夢を責任をもって実現することだと話されました。これからはズームやオンライン、LINEでの活動は必須であるとも言われました。そしてロータリーは生涯現役、ロータリークラブに傍観者はいないという言葉で締めくくられました。

分科会では公共イメージ部門に参加しました。3つのクラブが実践発表をされましたがコロナ渦中でもコロナ関係やウクライナ関係で苦勞してなんとか奉仕活動を実践されたお話を聞きました。活動を報道してもらうには日ごろからの付き合いも大切だとのことでした。一つ気になったのは当クラブのマイロータリーの登録が2710地区内でワースト3に入っていることです。何とか登録が進むよう努力したいと思います。

地区研修・協議会報告

奉仕プロジェクト部門 (青少年奉仕)

次年度青少年奉仕委員長
重信 優



次年度、青少年奉仕部門をおおせつっております重信です。昨日、初めて参加させていただきました、地区研修・協議会、担当分科会の報告をさせていただきます。

私が参加させていただいた分科会は、奉仕プロジェクト部門②(青少年奉仕)でした、全てが初めてのことであり、予備知識もなく参加させていただきましたので、うまくご説明ができませんがご了承の程どうぞよろしく願いいたします。

まず、各プログラムの委員長報告があり、その中のインターアクトクラブ活動報告で、福山の英数学館高等学校が実施された「チョコ募金について」のビデオ報告が印象深く、高校生が様々な活動に寄与していることを知り大変勉強になりました。また、ロータリー青少年交換も本年度は実施予定とし説明がありました。

続いて、ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLAライラ)についても本年度は開催予定で、12月3日～4日に山口県防府市にて開催、大会参加者170名を予定し、歴史的建造物探訪および第53回防府読売マラソン大会に水分補給等の大会スタッフとしてボランティア参加しRYLA防府大会を満喫いただきたいと説明がありました。

続いて地区ロータリーアクト代表報告として広島中央ロータリーアクトクラブの坂井さんが報告されました。その中で、新型コロナウイルスによる影響として行事の大半を中止し、地区内の会員数およびクラブ数が年々減少している問題などをあげられました。特に通例として輪番制において次年度代表選出クラブを決定していましたが、クラブ終結・休会などの事情により、次年度も続投という形で現在調整されているとお聞きし、コロナ禍の影響が多々あることを実感。ロータリーアクト提唱ロータリークラブを含め地区内のロータリークラブの支援の仕方を考えさせられました。

そして最後に地区青少年奉仕カウンセラー報告として晝田(ひるた)パストガバナー(PG)から講演・質疑応答がありました。

以上、つたない説明ではございますが、奉仕プロジェクト部門②(青少年奉仕)分科会の報告とさせていただきます。

会長幹事部門

次年度会長

沈 勝義



コロナ感染症の影響で3年ぶりにリアル開催となった地区研修・協議会ですが、今回は786名の参加者で開催されました。

次年度ガバナーの石川義興さんは徳山RCですが、グランヴィアホテル広島に地区事務所が設置されて以降、地区研修・協議会は広島平和公園内の国際会議場で行われることになり、三次からも参加しやすくなりました。今回もこれまで同様、余裕を見て10時に出発しましたが、高速道を利用したので、途中で早めの昼食をとっても11時半過ぎには到着してしまいました。お陰様で、公園内のレストハウスでコーヒーをいただく余裕ができました。次回からは30分ぐらい遅らせて出発してもよいのではないかと思います。

研修はまず合同本会議としてガバナーの地区運営方針とそれに合わせた基調講演がありました。ガバナー方針が解りづらかったのですが、2022年RI研修リーダーで、2020-23年度ロータリー公共イメージコーディネーターである、東京広尾RCの服部洋子さんが基調講演で丁寧に解説していただいたので少し理解できたように思います。

また、会長・幹事部門でも「DEIとこれからのロータリー」と題して講演され、ガバナーが多用される単語を解説していただき、理解が深まったような気がしました。

ここであえて分科会のテーマでもあるガバナーの思いを読み上げます。

「2022-23年度ガバナー信条は「人生100年時代に向けて健康寿命を延ばそう。～ガン・生活習慣病の予防～」としました。

今年は中核的価値観を敬い、国際ロータリーのビジョンと財団目標を達成する為に今後5年間の活動を方向付ける4つの優先事項が決められました。これを行動計画といい、その達成のためにはDEIが不可欠であると理解して、IMAJINEして出来ることから改革をして行くことにしました。国際ロータリーの活動指針であるDEI(Diversity, Equity, Inclusion)をIMAJINEして地区・クラブの理事会、委員会において常に全員

で討議し、地区とクラブに合った意識改革と問題点を分析し、改善すべき事項は実行をしていただきたいものです。」と熱く語られていますが、中核的価値観、国際ロータリーのビジョン、4つの優先事項、行動計画、DEI、IMAJINEなどの単語はすんなり頭に入ってきてませんでした。以前資料でいただいたものを今回皆さんにも配布しましたので、皆さんなりにも理解を深めてください。(配布資料)

さらに分科会ではもう一つのテーマとして、昨年ロータリーの重点分野に『環境』が追加決定されたことを受け、「瀬戸内海の海洋汚染」について活動されている日本財団常務理事の海野光行様にご講演をいただきました。現在、広島県・岡山県・愛媛県・香川県の沿岸4県の後援による「瀬戸内オーシャンズX」という取り組みの説明がなされました。これは瀬戸内海に流入するプラスチックごみなどの除去や削減に向けた活動です。山間部であっても河川を通して流れてくるので、それぞれの地域で取り組むべきとして、5月30日をゴミゼロの日と位置づけ、梅雨に入る前に河川の清掃をしようといった活動を推進されるようです。ロータリークラブの社会奉仕活動としても取り組みやすいかもしれませんね。10月の地区大会では、東京大学大気海洋研究所の道田豊教授による講演が計画されています。

最後に、会長・幹事のみがグランヴィアホテル広島で懇親会が開催されましたが、テーブルに着席のまま、移動や大声での会話も制限され、少し物足りなく感じました。とは言え、3年ぶりのリアルなロータリーの集会に浸り、とても楽しかったです。

地区研修・協議会報告 米山奨学会部門

次年度国際奉仕委員長 酒井正治

基本方針として、ロータリーの理想とする平和のための国際理解と親善に寄与することを目的とした米山梅吉氏の崇高な精神を学び、米山の原点を再考し、地区全体で理解し、実践していきましょう。

- 米山奨学事業のあゆみ、特徴の理解。
- 奨学生、学友との交流促進と広報。
- 寄付金と財政状況の把握。

(第2710地区寄付目標額16,000円/1人、

今年度の地区の実績は、11,333円/1人で、34地区中、22位)

- より良いプログラムの企画以上です。